

シクロケム

東京都中央区日本橋本町3-9-4
日本橋ロードビル4F
TEL.03-5614-7147
<http://www.cyclochem.com>



寺尾啓二社長

ドイツ発、自然由来の

環状オリゴ糖で

健食業界に「信用」を供与

地球環境改善に貢献する

者の不信感から、健康食品の「信用」はますます重要視されてきている。

「健食大手の生産インフラ、ブランド、研究開発力には中小企業は太刀打ちできません。しかし中小企業でも、薬事法を遵守し、積極的な研究開発投資で、エビデンス（科学的根拠）を取るべきです。そういった地道な努力が『信用』を供与します」

と語るのは、株式会社シクロケム（資本金1000万円）の寺尾啓二社長。同社は世界シェア80%を誇る、ワッカーケミー社（独）の子会社、ワッカーケミカルコーポレーション社（米）から環状オリゴ糖（シクロデキストリン）を輸入する日本総代理店。

環状オリゴ糖とは、とうもろこしのデンプンから酵素反応によって合成されるブドウ糖を構成単位とする、自然由来の糖類。

アイオワ州、ワッカー社の世界最大級の製造工場——。米国のコーンベルトと呼ばれる大規模とうもろこし農業地帯に位置し、同社は環状オリゴ糖をそこから輸入している。環の大きさで、 α 、 β 、 γ と3種類ある。

α には腸内環境改善による血糖値上昇抑制作用や抗アレ

ルギー作用、また、香り成分をじわじわと放出させる効果、 β には茶カテキンの苦味を和らげる効果やワサビのあのツンとくる成分を保持させる効果、そして γ にはアンチエイジングで注目されている成分、コエンザイムQ10を安定化させる作用がある。

以上にあげたのはあくまで、代表的な環状オリゴ糖の作用。様々な分子を包接し、健康食品や化学製品の成分に作用するので、まだまだ未知の可能性が期待される。中でも γ は今、一躍脚光を浴びる環状オリゴ糖で、提供できるのは同社のみだ。

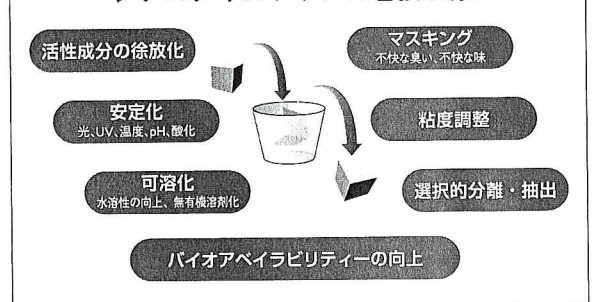
地球環境を改善する

環状オリゴ糖の可能性

環状オリゴ糖の普及はダイオキシンの無害化処理、汚染土壌・水質の改善など、環境対策でも期待されている。

寺尾社長は京都大学で工学博士号を取得。その後ワッカーケミー社のアジア地域管轄の子会社などを経て、2002年7月、同社を設立。その経歴の傍ら、10年間、中央大学において工業有機化学の分野で教鞭をとってきた経験もある。

シクロデキストリンの包接現象



また、現在では日本シクロデキストリン学会理事、日本サイクロデキストリン工業会副会長も兼務している。

「地球環境は微生物、植物、動物が共存する形で生態系が成り立っていますが、近年人間がその「輪」を乱し始めています。自然由来で地球にやさしい、環状オリゴ糖の普及を通じて、地球環境を改善していきたい」（寺尾社長）

今、健康食品産業には消費者にとって何が信用され、何が喜ばれるのかが企業に期待されている。同社は成分の効能や安全性を補完し、地球環境にも貢献度の高い、環状オリゴ糖の可能性で業界を牽引していく。（有）